



● 広葉樹施業直後の写真（上）とその1年後の写真（下）

発行=日吉町森林組合 〒629-0341 京都府南丹市日吉町殿田尾崎8-1
Tel=0771-72-0017 Fax=0771-72-1375
E-mail=h-sinrin@fancy.ocn.ne.jp
<http://www.720017.or.jp/>
2016年1月発行

年頭にあたり

新年明けましておめでとうございませす。組合員の皆様には、ご家族お揃いで良き新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。平素は森林組合の業務運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

よく「アッ、という間に時間が経過する」ということを言いますが、昨年1年は私に取りましてまさしく「アッ」という間に過ぎ去った1年でした。振り返れば、昨年3月28日に井尻前組合長からバトンを受け取った後、理事・監事に手助けいただき、また組合員の皆様から多大なる御指導と御支援をいただきながら、必死に駆け抜けた1年だったと思います。

組合長着任後は、職員の顔と名前を一致させることから始まり、事務職員が現場に行く時に同行し、機械の名前やその機械がどんな作業をするのか、また、現場職員一人ひとりがどんな作業をしているのかを把握することに必死でした。さらには、プランナーと一緒に森林調査に行ったり、間伐木の選木を一緒にしたり

と、とにかく現場に出ることを心がけてきました。今ではもちろん、職員の顔と名前は一致しますし、機械の名前とその機能もおおかた理解しております。また、職員一人ひとりの担当業務や作業内容なども把握出来ました。組合長2年目となる今年は、昨年のように駆け抜けるのではなく、一歩ずつ着実に前に進み、日吉町森林組合の更なるレベルアップに貢献したいと思えます。

そんな事を思いながら始まる新年ですが、平成28年度は、森林整備事業に対する国の補助予算が大幅に削減されるという話があり、また木材価格もなかなか上向いてこないなど、森林林業には依然として強い向かい風が吹き付けているように感じます。

しかしながら、組合員の皆様の大切な森林の管理を担う森林組合が、その歩みを止める訳にはいきませんし、その森林の価値を高め、少しでも組合員の皆様の利益に結びつけていくことが使命だと考えております。

つきましては、役職員一丸となり日吉町森林組合の発展に尽力してまいりますので、組合員の皆様を始め、関係者の皆様のより一層のご理解、ご支援をお願い

申し上げますとともに、この1年が皆様にとって素晴らしい年でありますようご祈念申し上げます、新年のあいさつとさせていただきます。

(宇野)



これからの森林づくりについて②

前号では、日本の森林・林業についてその歴史を振り返り、戦後の復興期までは「木の使いすぎによる危機」を繰り返して、昭和の後半から現在に至っては「木を使わなくなったことによる危機」を迎えていますと説明してきました。今号では、その昭和の後半以降、森林・林業がどんな歴史を歩んできたのかを紐解いていきたいと思います。

『昭和25年に「国土緑化推進委員会」が結成され、国を挙げての国土緑化が推進され始めた訳ですが、そこから昭和40年代半ばにかけては毎年30万立米以上の植林が行われ、ピーク時には年間40万立米を超える植林が実施されました。特に、燃料が薪炭から化石燃料に転換した昭和30年代以降は、薪炭林等の広葉樹林をスギ・ヒノキ人工林に転換する「拡大造林」が推進されました。その結果、昭和50年代後半までに約770万立米も的人工林が植林されました（林野庁統計資料より）。』

毎年30万立米と言われてもピンと来ないかも知れませんが、日吉町内の森林面積が約1万1千立米ですからその30倍と

いうことになります。1年間で日吉町の30倍の面積を植林したと言われると、その凄さがお解りいただけるかと思いません。しかもそれを100%人の手で植えていくわけですから、凄まじいエネルギーが費やされていたんだと思います。そのようにして膨大な面積の植林がされてきましたが、一方で国産材の生産がどう推移してきたかということを見ていきたいと思います。

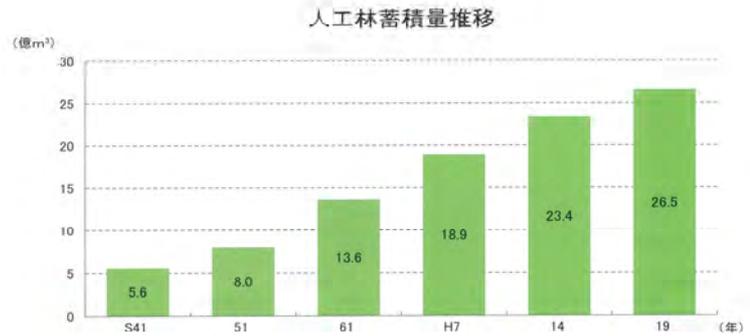
『まず、こちらのグラフをご覧ください。』



このグラフは、昭和30年から平成26年までの木材供給量（市場や製材所などへ出荷された木材量）の推移を表したものです。青色の折れ線が国産材の供給量の推移を表し、赤色の折れ線が外国産材の供給量の推移を表しています。小さくて申し訳ないのですが、昭和30年から50年までは国産材の供給量が毎年4千万立方メートルを超えておりますが、昭和50年以降は右肩下がりです。国産材の供給量が減少してきます。一方外国産材はというと、昭和30年から徐々に供給量が増え、昭和39年頃から急激に増加してきます。これは昭和30年頃から木材の輸入化が段階的にスタートし、昭和39年に全面自由化になったためです。こうして見てみると、木材の輸入自由化が始まったことで国産材の供給量が減少したんだということになります。

次にこちらの違うグラフをご覧ください。こちらは人工林の蓄積量の推移を表したグラフになります。蓄積量とは木が山に立ったままの状態です。その材積量がどれだけあるかというものです。いわば人工林の在庫量とも言えます。その蓄積量の推移を昭和41年から約10年毎で表したものです。こちらも林野庁の統計

資料より参照させていただきました。



いるのが分かります。ここで先ほどの木材供給量のグラフに戻りますが、昭和41年から51年までの国産材の供給量を合計すると、約4億5千万立方メートルとなります。木材供給量は人工林のみの供給量ではありませんので一概には言えませんが、人工林の蓄積増加量を遙かに上回る量の木材が国内の森林から伐り出されていたこととなります。

「木材供給量の推移」と「人工林蓄積

上のグラフを

見てみると、人工林の蓄積は昭和41年から51年の10年間で2億4千万立方メートル増加し、次の10年では5億6千万立方メートル、その次が5億3千万立方メートルと右肩上がり増加して

量推移」の2つを重ねて見ると、次のようなことが考えられます。

昭和39年に木材輸入が全面自由化になり、その供給量の増加に押されるように国産材の供給量が減少してきました。ですから、国産材供給量の減少は木材輸入自由化が主たる原因であると言われていきます。しかし、一方で昭和40年から50年の10年間では、木材蓄積増加量の倍の木材が山から伐り出されていまして、国内の森林資源量は減少していたと考えられます。したがって、国内の森林資源を守るために木材輸入の自由化に踏み切ったという見方も出来ます。』

ともあれ結果的には、昭和の後半以降国産材の生産量も木材価格もどんどん減少し、日本の森林・林業の歴史に深い闇が訪れてしまいました。しかし、平成23年頃から国産材の供給量が少しずつではありますが増加傾向にあります。深い闇の中にも一つの光が見えてきている気がします。

次回は、日吉町森林組合が取り組んできた「日吉の森復活作戦」の歴史とともに、深い闇の中の光を見ていきたいと思います。

シリーズ・職員紹介!

今回皆様に紹介する職員は、チェーンソーマンの「豊永将士」です。

- ・平成3年12月30日生(24)
- ・入組Ⅱ平成24年4月、4年目
- ・専門分野Ⅱ木材伐採
- ・その他Ⅱまだまだ未熟ですが、今後は

林業機械の操作にもチャレンジし、木材の伐採も出て機械操作も出来るオールマイティな人材になりたいと、日々勉強中です。



「森の道具屋」からのお知らせ

キノコ菌及び原木の販売について

シイタケ菌・ナメコ菌及び原木・菌入り原木を販売させていただく時期になりました。今年も以下の種類を販売いたします。

※シイタケ菌

- ・ 115番 (肉厚で人気No.1品種)
 - ・ 240番 (干し椎茸に最適)
- 両種類とも500コマ (1,697円税込) と1000コマ (3,086円税込) があります。

※ナメコ菌

- ・ 早生ナメコ菌 (別名ジャンボナメコ)
- ナメコ菌は500コマ (1,697円税込) のみとなっております。

※シイタケ原木

- ・ 原木 (480円税込/本)
 - ・ 菌入原木 (590円税込/本)
- 菌入原木のシイタケ菌は、115番 (肉厚) の早生の菌になっております。

原木・菌入り原木ともに販売本数に限りがありますので、購入をご希望される方につきましては、お早めにお求めいただきますようお願い申し上げます。

なお、シイタケ菌及びナメコ菌について

では既に入荷しております。原木につきましてはまだ入荷しておりませんが、ご予約賜りますので組合までご連絡いただければと思います。

(出野)



薪の販売について

薪ストーブやお風呂用の薪を販売しております。

- ・ 1束…617円/税込



庭松の虫害防除は大丈夫ですか？

まず、皆様に知っておいていただきたいのですが、「松くい虫が入ってしまった松のほとんどは、枯れるのを待つ」しかありません。

組合では、大事な庭松に松くい虫が入らないように、松枯れ防止の薬剤注入をお勧めしております。今年も1月から薬剤注入に回りますので、お気軽にお申し込みください。

また、「ウチの松はどうやるか？」とご心配な方がおられましたら、松の状態を検査させていただきますので、こちらもお気軽にご連絡ください。「あれ？松が弱ってきてるかもしれないなあ」と思われる方もご一報いただければ、状態を調べさせていただきます。松が弱ってしまふ原因は松くい虫だけではございませんので、きちんと原因を調べて対処すれば、元気になる松もございます。

(今西)



モンベルコーナーがリニューアル

2015年3月から、「森の道具屋」でモンベル商品の販売を開始しました。皆様にはご好評いただいておりますが、さらに皆様のご期待に添うべく、コーナーをリニューアルいたします。

この春から、「日本の第1次産業を応援したい」というコンセプトで開発された「フィールドウェア」シリーズの商品ラインナップを、より一層充実させていきます。新商品も続々発売予定で、農業に従事されている皆様や、林業に従事されている方々が少しでも快適かつ安全に作業が出来る商品をどんどん入荷する予定です。是非一度ご来店いただき手に取ってみてください。御試着もしていただけます。（今西）



山林移動届等の提出について

森林だよりではお馴染みの内容となっておりますが、左記の事柄について該当される方がおられましたら、組合までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

- 名義人が高齢などの理由で家族内で名義を変更した
- 名義人が亡くなられたので相続をした
- 共有林の代表が変更になった
- 売買・贈与などで山の面積が増えたり、減ったりした
- 引っ越しをされ住所が変更になった

組合員の皆様との繋がりを、いつまでも大切にしていきたいと思っておりますので、変更がありましたらご連絡くださいますようお願い申し上げます。

（出野）



その他のお知らせ

山林所得の確定申告と伐採証明

毎年のこととなりますが、2月中旬に なりますと確定申告が始まります。山林を伐採して譲渡したり、立木のまま譲渡したりして生じる所得（山林所得）は、他の所得とは合計せず異なった計算方法（5分5乗方式）により税額を計算し、確定申告を行うこととなっております。しかし、山林所得すべてにおいて必ず確定申告をしないといけないということではありません。

課税対象になる山林所得は、総収入金額から**必要経費**と**特別控除額**を差し引いた額と定められています。まず「必要経費」というのは、伐採費や搬出費、仲介手数料の譲渡費用などの事を言いますが、これ以外に特例として「概算経費控除」というものも「必要経費」に含めることが出来ます。この「概算経費控除」とは、収入金額から譲渡費用を差し引いた金額の50%に相当する金額を概算の経費とすると言うものです。

次に、「特別控除額」についてですが、これは国において「最高50万円」までを特別控除額とすると定められておりま

す。

以上のことから、山林所得が100万円あった場合、「概算経費控除」で50万円が必要経費とみなされ、50万円が特別控除額とされるので、山林所得額は0円とされます。なので100万円以下であれば課税されません。と、いうことになります。

さらに、「森林計画特別控除」という制度があり、経営計画に基づき伐採や譲渡をした場合には、先の「概算経費控除」が20%アップして、70%まで認められます。この場合だと、約170万円まで課税されない計算になります。ただし、この制度を利用する場合には、南丹市が発行する「伐採（譲渡）証明申請」などの書類を税務署へ提出する必要があります。

これに関して、組合では代筆サービスを行っております。平成27年に課税対象山林所得があった方は（経営計画の立案が前提となりますが）、1月28日までに組合へお越しいただくと、証明書の代筆をさせていただきます。その際に必要なものは印鑑と収入証紙代、証明手数料です。ご希望の方がございましたら、組合までお越しく下さい。

最後に、山林を取得されて5年以内に伐採又は譲渡をして得た所得は、山林所得ではなく「事業所得」か「雑所得」に含まれます。概算経費控除に関しても、「伐採または譲渡した年の15年前の12月31日以前から引き続き所有していた山林において」という前提条件があります。

以上の説明は、国税庁のホームページより抜粋しておりますが、少しでも不明な点等がございましたら、税務署へ直接お問い合わせいただくことが確実かと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

（仲上）



平成28年 大犯土表

※大つち・小つち・土用の間は木や竹を伐ると虫が入りやすく腐りやすいので、除伐や下刈りなどはこの時期に行うと早く腐るのでよい

※大つち・小つち・土用、いずれも土を動かすことは悪いと言われる

月	大つち	小つち	土用	木の採れる日
1		1~3	18~31	4~17
2	18~24	26~29	1~3	4~17
3		1~3		4~31
4	18~24	26~30	16~30	1~15
5		1~2	1~5	5~31
6	17~23	25~30		1~16
7		1	19~31	2~18
8	16~22	24~30	1~6	7~15
9				1~30
10	15~21	23~29	20~31	1~14
11			1~6	7~30
12	14~20	22~28		1~13/29~31

提供・(株)北桑木材センター

(資料提供・北桑木材センター H27, 12, 21)

スギ	中目	4 m × 1 8 ~ 2 4 c m	10, 000 ~ 15, 000	・スギ 中目材は全面高 買気強い。
	"	4 m × 2 4 ~ 3 0 c m	12, 000 ~ 18, 000	
	柱	3 m × 1 6 ~ 2 0 c m	9, 000 ~ 12, 000	
	"	6 m × 1 6 ~ 2 0 c m	13, 000 ~ 15, 000	
ヒノキ	柱	3 m × 1 6 ~ 2 0 c m	10, 000 ~ 13, 000	・ヒノキ 全面安。一部枝 打ち済みの良材 (太材)のみ高い が他は買気なし。
	"	6 m × 1 6 ~ 2 0 c m	15, 000 ~ 20, 000	
	中目	4 m × 1 8 ~ 2 4 c m	12, 000 ~ 15, 000	
	土台	4 m × 1 4 ~ 1 6 c m	11, 000 ~ 12, 000	

あとかぎ

先日、私ที่บ้านに帰ると奥さんが「ちょっと聞いて！(怒)」と。話を聞くと、じいちゃんが娘に「良い絵本があったので買ってきてくれたらしいのですが、そのタイトルが『ママがおばけになっちゃった』。その本を見て奥さんが「ママ死んでもうたやん。なんでこんな絵本買ってくるかなあ」と少し怒っていたのです。私は面白くて笑ってしまいましたし、何でその絵本なんやろなああと2人で話していましたが、後日その理由が分かりました。

休日に家族で買い物に出掛けた際に、フラッと本屋さんに立ち寄った時のことでした。本屋さんの「話題作」のコーナーで、「ママがおばけになっちゃった」が大きく取り上げられていたのです。しかも、発売直後から増版を繰り返して20万部の大ヒットとのこと。2人で「そら、じいちゃんも買ってくるわなあ」と納得しました。

この絵本ですが、子供が泣くより先に、読んでいるママが泣いてしまうというご家庭が多いみたいです。うちの奥さんも読みながら泣いてしまうので、まだ読み

聞かせられてないと言っていました。また、「コウノドリ」というテレビドラマが、産婦人科医が主人公の漫画をドラマ化したものです。そのドラマの台詞に「出産は、決して絶対安全だというものではありません。子供が元気に産まれてくることは奇跡なんです。」とありました。

最近では、ドラマやアニメで平気で人殺んだり殺されたり、ひどいモノになると人を食べるアニメが深夜とはいえず平気で放送されたりしています。そういったモノの影響か、2歳の子にたばこを吸わせてみたり、鎖につないでご飯を与えず死なせたりと、これまでの常識では考えられない事件が起こっています。

子供の将来を真剣に考えてあげるのなら、子供に見せるアニメやドラマ、絵本はどういったものが良いのかを、親が真剣に考えてあげなければいけないと思います。

お子様やお孫様がいらっしゃれば、是非読んでみていただければと思います。



(小林)